

## 社会保険オンラインシステム最適化評価ワーキンググループの設置について

平成 19 年 12 月 4 日

電子政府評価委員会座長決定

## 1 趣旨

IT ガバナンスの強化、年金記録の管理にとって適切かつ効率的なシステム開発など、年金記録問題検証委員会報告書の新システム構築に向けた指摘事項への対応状況についての点検・評価を始め、社会保険オンラインシステムの最適化に関し、専門技術的な点検・評価等を行うため、電子政府評価委員会に社会保険オンラインシステム最適化評価ワーキンググループ（以下「ワーキンググループ」という。）を置く。

## 2 構成員

ワーキンググループの構成員は、座長が委嘱（当該構成員が電子政府評価委員会構成員の場合にあっては、座長が指名）する。ワーキンググループに主査を置き、主査は構成員から座長が指名する。

## 3 主要課題

- (1) 最適化実施プロジェクト体制の点検・評価
- (2) システムの設計・開発段階の点検・評価
- (3) 上記事項に関連して、点検・評価を要する事項

## 4 庶務

ワーキンググループの庶務は、総務省の協力を得て、内閣官房において処理する。

## 5 その他

前各号に掲げるもののほか、ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、主査が定める。

【社会保険オンラインシステム最適化評価ワーキンググループ構成員】

- 上山 信一 慶応義塾大学教授
- 大山 永昭 東京工業大学教授（IT 戦略本部員、電子政府評価委員会構成員）
- 座間 敏如 内閣官房情報通信技術（IT）担当室電子政府推進管理補佐官
- 住岡 弘司 内閣官房情報通信技術（IT）担当室電子政府推進管理補佐官
- 間瀬 朝久 株式会社ゆうちょ銀行専務執行役
- 丸山 博義 内閣官房情報通信技術（IT）担当室電子政府推進管理補佐官
- 依田 智夫 総務省行政管理局技術顧問

（五十音順 敬称略）

(参考) 年金記録問題検証委員会報告書 (平成19年10月31日) <抜粋>

## V 今後の教訓

(システム改善に関する教訓)

70. 社会保険庁は「社会保険業務の業務・システム最適化計画」に基づき、業務・システムの最適化に向けて既に幅広く検討を進めている。社会保険庁は、記録管理の重要性を認識し、システムの管理・運用体制を適切に整備すること、組織全体として日々の入力等のミスの把握を含め、記録管理業務全般の状況をモニタリングし、評価・検証・改善を行うことなど、現行システムの機能に係る委員会の検証結果を踏まえて、第三者的立場にある機関による点検・評価も受けつつ、今後の設計、開発及び運用に反映し、社会保険オンラインシステムの刷新を推進すること。